

# ワンタッチ ベランダ物干し受 MC-80 取り扱い説明書

取り付け高さ範囲：210cm～280cm 耐荷重：竿1本あたり10kg(竿受けフック部 0.5kg) 全体で 22kg

下記の取り扱い説明書をよくお読みの上正しくお使いください。また、本説明書は、大切に保管しておいてください。

## △組み立て前の注意

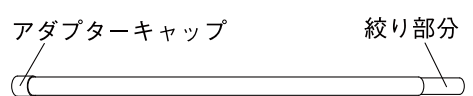
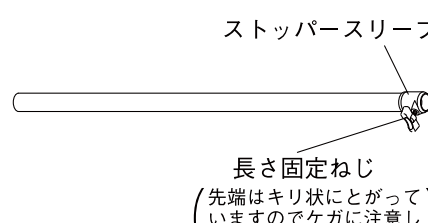
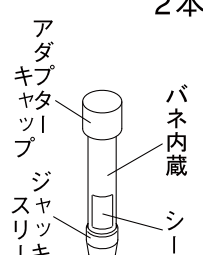

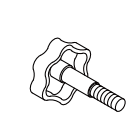
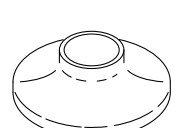

- 本製品は、支柱を天井と床にバネで強力に圧着して取り付けますので、取り付ける天井面・床面は十分な強度を持つコンクリートや梁などに取り付けてください。
- 石膏ボードなど柔らかい(弱い)所では破損する恐れがありますので、必ず棧のある所に取り付けてください。
- 傾斜した天井面、床面には取り付けしないでください、転倒や落下の原因になります。
- 和室天井(軒下天井)は、破損や、変形が生じますので取り付けしないでください。
- ベランダなどで、万一竿などの落下がおきると危険ですので手すりの十分内側に余裕をもたせて取り付けください。
- ねじ、釘を使わずに取り付けしますので、人の体が当たったりする所、また子供の遊び場所などには取り付けしないでください。
- 取り付け場所(高さ)が210cm～280cmの範囲内であることを確認してください。

## △組み立て上の注意

- 組み立ては十分に広い場所で行い、床面などを傷つけないように、敷き布などをしてから行なってください。
- パイプの端面には、直接手や指などを触れないでください。ケガの恐れがあります。
- 組み立て及び取り付け作業には、手袋の着用をお勧め致します。
- 長さ固定ねじの先端はキリ状に尖っていますので、ケガをしないよう十分にご注意ください。
- ねじ、釘を使わず圧着固定しますので、ねじ類はしっかり締め付けてください。支柱は垂直に設置してください。
- 改造や分解は危険ですのでしないでください。また用途以外の使用はしないでください。
- ストーブなど火気のそばでの取り付け、使用はしないでください。

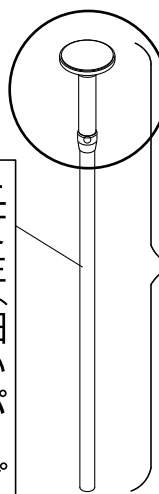
## 部品表

組み立て前に、部材がそろっているか確認してください。

<b>下支柱 2本</b> 	<b>中間支柱 2本</b> 	<b>ジャッキパイプ 2本</b> 	<b>竿受け 4個</b> <small>(※ねじ穴の一方に六角ナット付)</small> 	<b>竿受け固定ねじ 4個</b> 	<b>キャップ 4個</b> 
<b>上支柱 2本</b> 					

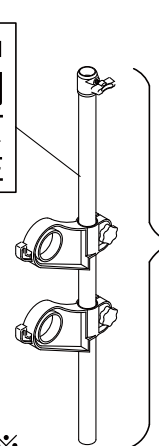
### 1 各支柱に部材をセットします。 (※2セットを同じ手順で組み立ててください。)

**上支柱(細いパイプ)**



① 上支柱の切り込み加工側にジャッキパイプを回転させて組み込みます。(軽く回して止まるまで回す)  
② ジャッキパイプ上部にキャップをしっかり底まではめ込みます。  
※切り込み加工

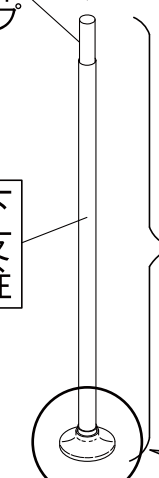
**中間支柱**



① 中間支柱の下側から竿受け2個を通します。  
② 竿受けに竿受け固定ねじを1回転半ほど回して仮付けします。(注意：ずれ落ちない程度にねじを軽く締めます。締めすぎると後で竿受けが移動できなくなる場合があります。)

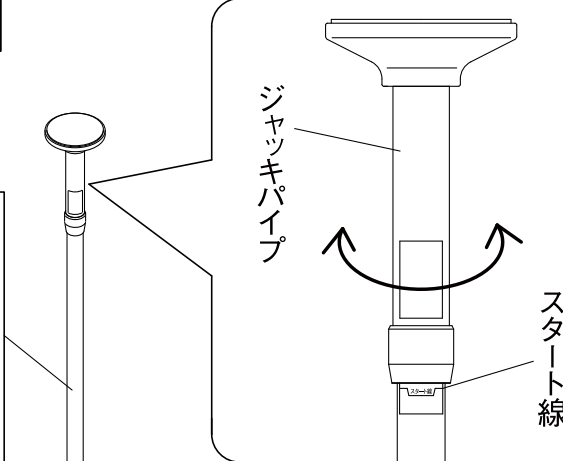
注意：竿受けのねじ穴の片側には六角ナットが付いているのでその反対側から竿受け固定ねじを仮付けしてください。

**下支柱**



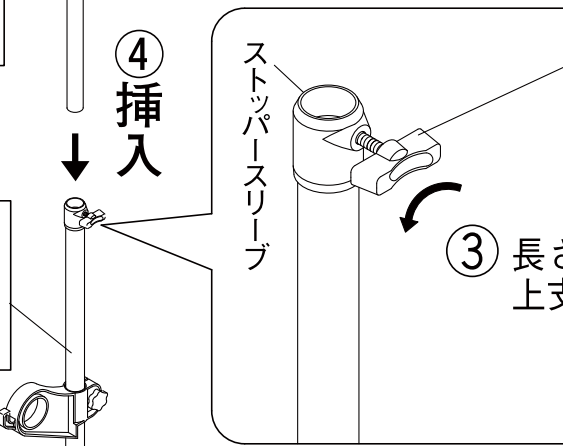
下支柱にキャップをしっかり底まではめ込みます。  
アダプターキャップ  
キャップ

**2**



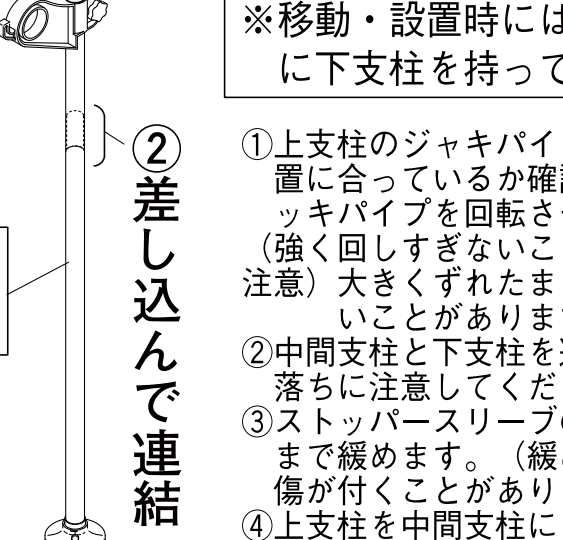
① ジャッキパイプの下端がスタート線に合っているか確認し、ずれている場合は合わせてください。

**4 挿入**



③ 長さ固定ねじを緩めてから、上支柱を通します。  
(先端はキリ状にとがっていますのでケガに注意してください。)

**2 差し込んで連結**



① 上支柱のジャッキパイプの下端がおよそスタート線位置に合っているか確認し、合っていない場合はジャッキパイプを回転させて合わせてください。(強く回しすぎないこと)  
注意) 大きくずれたままですと支柱が取り付け出来ないことがあります。  
② 中間支柱と下支柱を連結します。(※移動時の抜け落ちに注意してください)  
③ ストッパースリーブの長さ固定ねじを上支柱が通るまで緩めます。(緩め方が不十分ですと、上支柱に傷が付くことがあります)  
④ 上支柱を中間支柱にゆっくり挿入します。(急激に落下させないように注意してください)

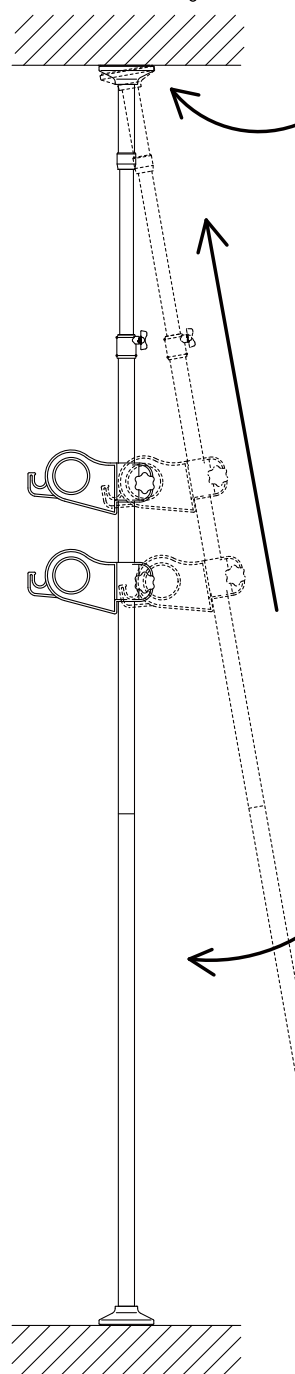
※移動・設置時には、下支柱が抜けないように下支柱を持って作業を行ってください。

裏面に続く



- 3** ①組み立てた製品を設置場所へ移動させます。  
 注意) 下支柱が抜けないように下支柱を持って移動させます。  
 ②支柱を垂直に立て、上支柱のキャップが天井面にピッタリ当たるまで引き出します。(強く天井に押し付けないこと)  
 ③ストッパースリーブの長さ固定ねじを根元付近まで締め込んで支柱の長さ(高さ)を固定します。  
 (パイプに穴があき、長さが固定されます)  
 ※固定ねじの締め付けが不十分だと、支柱を圧着固定する際に十分な圧着力が得られず、転倒の原因になります。  
 ④次に一旦、支柱を取り外し、ジャッキパイプを回しバネの強さを調節します。(※ストップ線を越えない範囲で調節してください) シール表示の3~4の間を目安にジャッキパイプ下端を合わせます。(4が最大バネ圧着力となります)  
 ※取り付け状態により手順4を繰り返し、適正な圧着力に加減してください。

- 4** ①下図のようにジャッキ部分を押し上げバネを押し縮めながら、②支柱をまっすぐ(垂直)に立てます。  
 ③支柱を引っ張り、しっかり固定されているか確認してください。

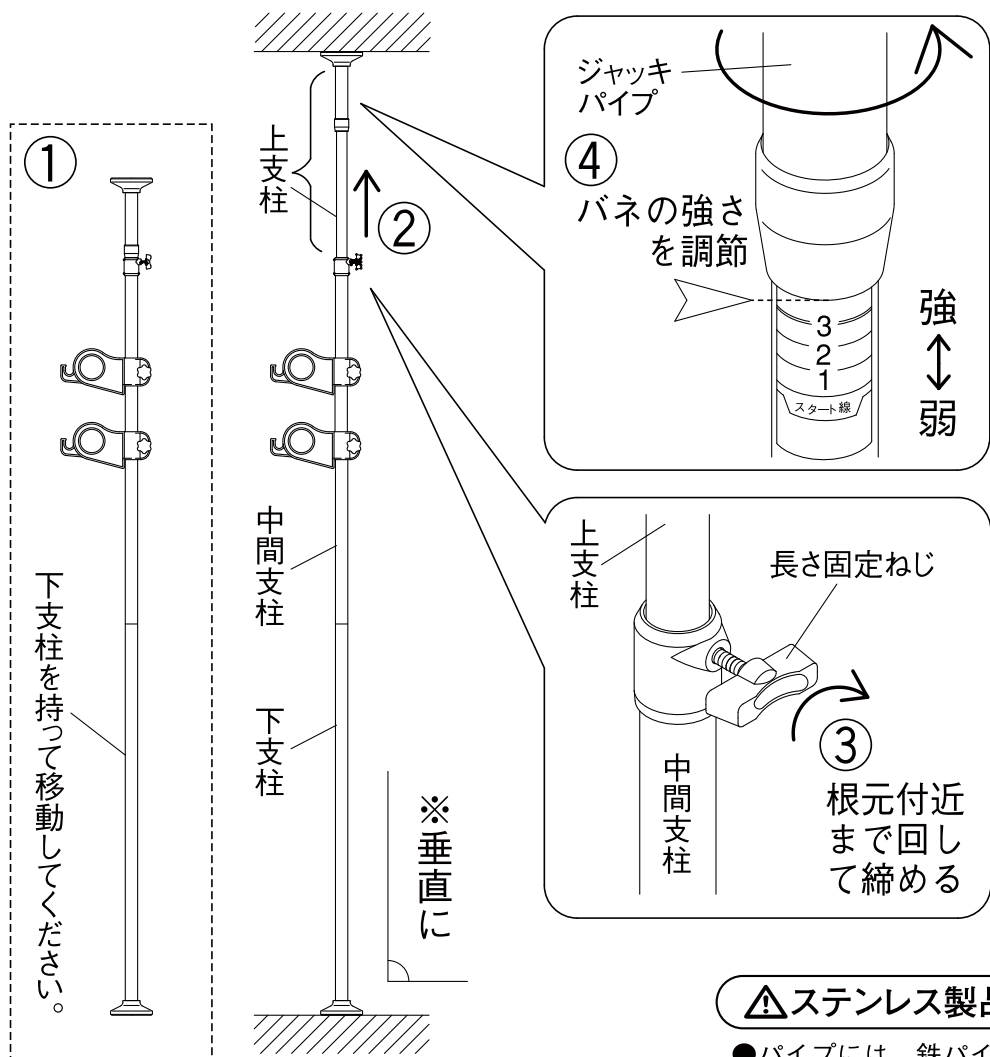


※注意  
 天井の状態を確認しながら押し上げてください。

① 全体を押し上げバネを押し縮めながら

② まっすぐに(垂直)立てる。

※移動・設置時には、下支柱が抜けないように下支柱を持って作業を行ってください。



△ステンレス製品の取り扱いについて

- パイプには、鉄パイプにステンレス箔を被覆加工したものを使用しています。そのためパイプ内部に水滴などが入り込むとサビの原因になります。
- ステンレスは鉄に比べて錆びにくい特性を持っていますが、使用条件や使用環境によってはサビが発生することがあります。
- パイプ表面に斑点状の赤サビが発生することがありますが、これは大気中に含まれる塩分、鉄粉、有害ガスが付着することによる「もらいサビ」です。
- 早期の「もらいサビ」は目の細かいサンドペーパーやクレンザーなどで取り除くことができます。
- 漂白剤・タイル用洗剤・酸性洗剤類はステンレスの表面構造を侵し、腐食をひきおこす原因になりますので決して使用しないでください。

△使用上の注意(注意事項は必ずお守りください)

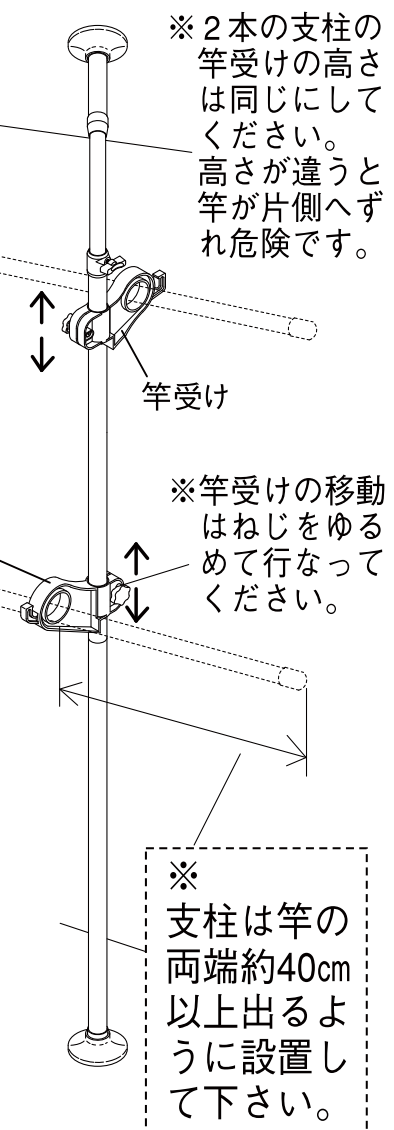
- 製品を、本来の用途以外に使用しないでください。
- ご使用前や、ご使用中に異常を感じた時は、直ちに使用を中止し点検を行ってください。
- 物を掛けたまま移動しないでください。また設置や移動の際には支柱や竿受け等の挙動に注意し、安全に行ってください。
- 支柱や竿受けを強く引っ張ったり、ゆすると転倒や破損の原因になり危険です。また登ったり、ぶら下がったりしないでください。(特にお子様にはご注意ください。)
- 万一に備え、危険物・貴重品・壊れやすいもの等を掛けたり周囲に置いたりしないでください。
- 表示寸法の範囲以内でご使用ください。(高さ約210cm~280cm)
- 必ず耐荷重の範囲以内で使用してください。また荷重は均等にバランスよく掛けてください。
- 耐荷重は竿1本あたり10kg(竿受けフック部0.5kg)、全体で22kg。集中させずバランスよく干してください。※耐荷重は取り付け幅や、取り付け面(天井、床面)の状態や、取り付け方によって下がる場合がありますのでご注意ください。竿の代わりに物干ロープなどを使用すると支柱が倒れる場合がありますので使用しないでください。(耐荷重は測定値であり保証値ではありません)
- 荷重は急激に掛けないでください。破損や転倒の原因になります。
- ストーブなどの火気のそばでは使用しないでください。引火の恐れがあります。
- 取り付け後2~3日後、圧着状態(バネの力)を確認し、弱い時は再度バネの圧着力を増してください。また定期的になじみのゆるみや圧着状態等を点検してください。
- 樹脂は特性上、長期使用により劣化が生じます。ヒビ割れ、変形など異状を発見された場合、直ちに使用を中止してください。
- 強風の時には使用せず、竿や製品本体はすべて取り外し安全な所に保管してください。また2階以上の中高層住宅のベランダ等では竿受けから竿がずれ落ちないように十分注意してください。
- 汚れた時など(定期的)は薄めた中性洗剤で汚れを落とし、水を含ませた布で拭き取り、そのあと水気を拭き取ってください。酸性洗剤や塩素系洗剤は使用しないでください。
- 天災などの不可抗力や、不当な使用・改造等による故障・破損などに対する補償等は致しかねます。
- 万一倒れても落下の恐れがない場所に設置してください。
- パイプ部に防錆油が付着していることがあります。使用には問題ありませんが衣服等につく恐れがありますので拭き取ってから使用してください。

<完成図>  
 (注意事項)

※パイプ部に防錆油が付着していることがあります。使用には問題ありませんが衣服等につく恐れがありますので拭き取ってから使用してください。

※ハンガーやシューズを掛ける場合は風に飛ばされたり落下したりしないよう十分注意してください。

※万一倒れても落下の恐れがない場所に設置してください。



※2本の支柱の竿受けの高さは同じにしてください。高さが違うと竿が片側へずれ危険です。

※竿受けの移動はねじをゆるめて行ってください。

※支柱は竿の両端約40cm以上出るように設置して下さい。

※竿受けは上図のように向きを互い違いにしてご使用下さい。

※予告なく仕様及び外観を変更する場合がありますのでご了承ください。  
 ※製品については万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたらお手数ですが右記連絡先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

材質表示

支柱	ステンレス管、ステンレス巻き鋼管
樹脂部品	ABS樹脂、PP樹脂、ナイロン樹脂、PE樹脂、合成ゴム
バネ	バネ鋼、メッキ仕上げ
ねじ類	鉄製、メッキ仕上げ



平安伸銅工業株式会社  
 お問い合わせは…開発室 ☎(06) 6228-8986  
 受付時間/9:30~17:00(土・日・祝日は除く)  
<http://www.heianshindo.co.jp/>